

仲間と通話可能かを常にチェックする

コールバック機能

グループモード時にコールバック機能を使用すると、「通話できる範囲にいるか」または「電源を切っていないか」を電子音とアイコン表示で常にチェックしながら通話できます。

- 注意**
- ・コールバック機能を“ON”にすると、オートチャンネルセレクト機能は使用できません。
 - ・コールバック機能は、中継チャンネルでは動作しません。



1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して“CLBK”の表示にします。
“CLBK”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。
4. [CUE] ボタンを押します。
5. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して“ON”の表示にします。
6. [CUE] ボタンを押します。
7. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して“GRP”の表示にします。
8. [CUE] ボタンを押します。
9. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して“ON”の表示にします。
10. [CUE] ボタンを押して、続けて [▲SET] ボタンを押します。
11. “GRCD”の表示になりますので [CUE] ボタンを押します。
12. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して、仲間同士で決めたグループコード (GP01～GP50) または DCS コード (D017～D754) にあわせて [CUE] ボタンを押します。
13. PTT (通話) スイッチを押します。

コールバック機能が動作して、画面に“圏内”が点滅表示します。相手が通話可能な状態になると“圏内”の点滅が点灯に変わります。

通話可能かどうかは、電子音とディスプレイの表示で確認できます。

| 状況 | 電子音 | アイコン表示 |
|---|----------------------|-------------------|
| 通話可能 ・相手と通話できる範囲にいる ・相手の電源が入っている | 圏内になった時に一度だけ“ビビッ”と鳴る | 電子音が鳴った後“圏内”が点灯する |
| 通話不可能 ・相手と通話できない場所にいる ・相手の電源が切れている | 圏外になった時に一度だけ“プッ”と鳴る | 電子音が鳴った後“圏内”が点滅する |

- 補足**
- ・同じチャンネルで同じグループコードや DCS コードが他の使用者に使われている時は、“グループモードの設定”を参照して、仲間同士で他のグループ番号に切り替えてください。
 - ・他のグループの人が同じチャンネルを使って通話している時は、音声は聞こえませんが、受信状態になり、通話できません。

コールバック機能をやめる

1. 上記の手順 1～5 を行い、手順 5 で“OFF”の表示にします。
2. PTT (通話) スイッチを押します。
コールバック機能が OFF になります。

PTT ホールド機能

一度 PTT (通話) スイッチを押すと、再び押すまで送信状態を維持します。

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して“PTT”の表示にします。
4. [CUE] ボタンを押します。
5. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して“HOLD”の表示にします。
NOR : PTT スイッチを押している間送信状態になります。
HOLD : 一度 PTT スイッチを押すと、再び PTT スイッチを押すまで送信状態を続けます。
OFF : PTT スイッチが無効になり送信できません。
6. PTT (通話) スイッチを押して終了です。

- 補足**
- ・連続して 3 分間送信すると、送信が自動的に停止します。送信が停止する 30 秒前から画面にカウントダウンが表示されます。また、送信が停止する 10 秒前に“ビビッ”と警告音が鳴ります。

ARTS 機能

ARTS 機能用の 10 種類の DCS コードの中から、使用可能な DCS コードを自動的に選択して「通話できる範囲にいるか」または「電源を切っていないか」を電子音とアイコン表示で常にチェックしながら通話できます。

- 注意**
- ・ARTS 機能を“ON”にすると、オートチャンネルセレクト機能は使用できません。
 - ・ARTS 機能は、中継チャンネルでは動作しません。



仲間同士の全てのトランシーバーを同じチャンネルにあわせてから、全てのトランシーバーで以下の操作を行います。

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して“ARTS”の表示にします。
“ARTS”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。
4. [CUE] ボタンを押します。
5. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して“ON”の表示にします。
6. PTT (通話) スイッチを押します。
ARTS 機能が ON になり、画面に“SYNC”が表示されます。
7. いずれか 1台の PTT (通話) スイッチを押します。
仲間の全てのトランシーバーが自動で使用可能な DCS コードに設定され、チャンネルの右側に“AT”が表示されます。

ARTS 機能が動作して、画面に“圏内”が点滅表示します。相手が通話可能な状態になると“圏内”の点滅が点灯に変わります。

通話可能かどうかは、電子音とディスプレイの表示で確認できます。

| 状況 | 電子音 | アイコン表示 |
|---|----------------------|-------------------|
| 通話可能 ・相手と通話できる範囲にいる ・相手の電源が入っている | 圏内になった時に一度だけ“ビビッ”と鳴る | 電子音が鳴った後“圏内”が点灯する |
| 通話不可能 ・相手と通話できない場所にいる ・相手の電源が切れている | 圏外になった時に一度だけ“プッ”と鳴る | 電子音が鳴った後“圏内”が点滅する |

ARTS 機能をやめる

1. 上記の手順 1～5 を行い、手順 5 で“OFF”の表示にします。
2. PTT (通話) スイッチを押します。
ARTS 機能が OFF になります。

- 補足**
- ・電源を切っても ARTS 機能は OFF になりません。次に電源を入れた時は、前回設定された DCS コードで ARTS 機能が動作します。
 - ・仲間を追加する時は、上記の“ARTS 機能をやめる”の操作を行い手順 5 で一度 OFF にした後に続けて ON にします。その後手順 6 では PTT (通話) スイッチを押した後 **1 秒以内** に [▲SET] を押してください。

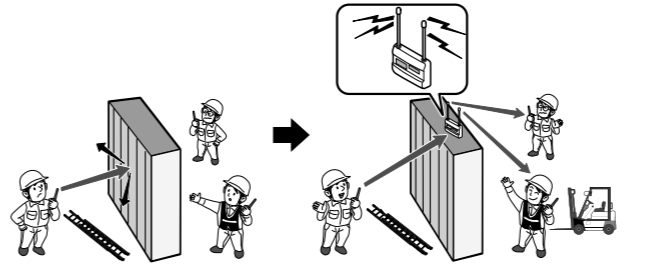
受信専用モード (送信禁止)

送信を禁止して受信専用にできます。PTT (通話) スイッチを押しても“ERR”が表示され「ブーッ」と警告音が鳴り送信できません。

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して“PTT”の表示にします。
4. [CUE] ボタンを押します。
5. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して“OFF”の表示にします。
NOR : PTT スイッチを押している間送信状態になります。
HOLD : 一度 PTT スイッチを押すと、再び PTT スイッチを押すまで送信状態を続けます。
OFF : PTT スイッチが無効になり送信できません。
6. PTT (通話) スイッチを押して終了です。

通話エリアを拡大する (中継器対応)

通話相手との間にビルなどの障害物がある場合や相手との距離が離れている場合など、電波が届かずに通話できない時は、本機対応の中継器を中間点に設置することで、通話エリアを広げることができます。使用できる中継器については、本機を購入した販売店、または当社国内営業部にお問い合わせください。



- 注意**
- ・中継チャンネルを使用中は、オートチャンネルセレクト機能は使用できません。

中継機能を使えるようにする

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して“RPCH”の表示にします。
“RPCH”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。
4. [CUE] ボタンを押します。
5. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して“ON”の表示にします。
6. PTT (通話) スイッチを押します。
中継機能用のチャンネル (10～18, 12～29) が使えるようになります。



通話のしかた

1. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して、中継器と同じチャンネル番号にあわせませす。
2. “基本的な通話のしかた”と同様に通話します。

- 補足**
- ・グループモードを使用することができます (中継器と同じグループ番号にあわせませす)。
 - ・当社指定の中継器のみ使用可能です。

中継器を使わない設定に戻す

1. 上記の「中継器を使えるようにする」と同じ操作を行い、手順 5 で“OFF”の表示にします。
2. PTT (通話) スイッチを押します。
以上で、中継器を使わない (中継器用のチャンネルを表示しない) ようになります。

モニター機能

相手の電波が弱くて音声が届かずに聞こえる場合“モニター機能”を使用すると、相手の音声が届きやすくなる場合があります。

1. 電源を切ります。
2. [ON▼] と [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
・モニター機能が動作します。
・信号が無い時は常に“ザー”という雑音が聞こえます。
3. 電源を切るとモニター機能は解除されます。

[CUE] ボタンの機能を変える

[CUE] ボタンには、緊急連絡や重要な用件の通知を行う“CUE 機能”が割り当てられていますが、その他の機能に変更することができます。

1. 電源を切ります。
2. [CUE] ボタンと [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して、割り当てたい機能の表示にします。

| 表示 | 機能 | |
|----|--|---|
| | 短押し | 長押し |
| | CUE 信号を送出して、グループ全員のトランシーバーにアラームを鳴らして緊急連絡を通知します。 | CUE 信号を受信した時に鳴るアラーム音を一時的に鳴らないようにできます。 |
| | DCS コードを設定している場合、呼び出し音を鳴らして相手を呼び出します。 | エマージェンシー機能が動作してアラーム音を鳴らして緊急事態を知らせます。 |
| | 相手の電波が弱くて音声が届かずに聞こえる場合、[CUE] ボタンを押している間、相手の音声が届きやすくなる場合があります。同時に信号強度を表示 (S メーター) します。信号が無い時は“ザー”という雑音が聞こえます。 | |
| | 受信中の音声を 3 分間ミュート (消音) します。 | 再び [CUE] ボタンを長押しするまで受信中の音声をミュート (消音) します。 |
| | VOX 機能を一時的に ON/OFF します。あらかじめセットモード“VOX”を ON にしてください。[CUE] ボタンを押して OFF にすると“ー”が表示されます。 | 長押しで動作する機能はありません |
| | マルチチャンネル待受受信時に、あらかじめ決めておいたチャンネル (セットモード“S-CH”で設定したチャンネル) で送信します。 | |
| | コールサイン (電子音) を送出します。電子音をセットモード“CLSG”で設定した回数鳴らして相手を呼び出します。 | |

4. PTT (通話) スイッチを押して終了です。

信号を探す (スキャン機能)

自動でチャンネルを切り替えながら信号を探す機能です。グループモード使用時は、同じグループコードを含む信号を探します。信号を受信するとスキャンが一時停止します。また、信号がなくなると約 10 秒後に再びスキャンを開始します。

- 注意**
- ・スキャン機能を“ON”にすると、オートチャンネルセレクト機能は“OFF”になります。

1. 電源を切ります。
2. [▲SET] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して“SCAN”の表示にして、[CUE] ボタンを押します。
“SCAN”が表示されない場合は“SETM”を表示させて“ALL”に設定すると表示されるようになります。
4. [ON▼] または [▲SET] ボタンを押して“ON”の表示にします。
ON : スキャン機能を ON にします。
OFF : スキャン機能を OFF にします。
5. PTT (通話) スイッチを押して終了です。

スキャンを開始する

[ON▼] ボタンを 1 秒以上押す：チャンネル番号の小さい方向にスキャン
[▲SET] ボタンを 1 秒以上押す：チャンネル番号の大きい方向にスキャン

- 補足**
- ・中継機能用チャンネルでスキャンを開始すると、中継機能用チャンネルだけをスキャンします。通常チャンネルでスキャンを開始すると、通常チャンネルだけをスキャンします。
 - ・スキャン中に [ON▼] または [▲SET] ボタンを押すと、スキャンする方向が変わります。

スキャンをやめる

PTT (通話) スイッチまたは [CUE] ボタンを押すとスキャンが停止します。